

航空保安業務への安全管理システム(SMS)

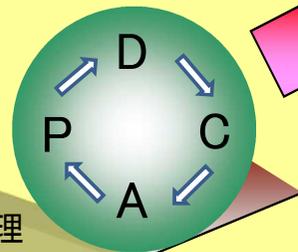
- ・事故やトラブルにつながる可能性のある危険因子(ハザード)を特定し、そのハザードによりもたらされるリスクを評価し、リスクを受容できるレベルまで低減する対策を講じるという事前予防的な取り組み。
- ・安全に対する方針・目標を明確にし、目標達成のための管理計画を立案(Plan)し、実施(Do)し、その状況を監視(Check)し、必要な措置(Act)を講じていくという系統だった包括的な管理手法。

国際民間航空機関(ICAO)が、以下の分野で導入し、標準化していた安全管理システム(SMS: Safety Management System)について、第19附属書に統合した。(2013年11月14日適用)

- ・航空機の運航(第6附属書)
- ・航空交通業務(第11附属書)
- ・飛行場(第14附属書)

第19附属書

安全性の維持向上

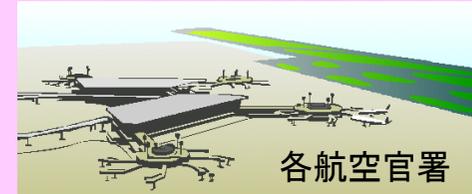


安全管理責任者

安全管理
規程等

全ての
現場職員

日々の業務運営



各航空官署

ヒヤリ・ハットなどの
不具合事例報告を促進する
非懲罰的環境づくり

リスクの評価

リスクの評価
・リスクの発生確率・重大性

ハザード(危険因子)の特定

リスク低減の基本
・技術(Technology)
・教育・訓練
(Training)
・規則・運用方式
(Regulation)

実施対策の監視

安全指標の測定
パフォーマンスの監視

安全対策の立案

安全指標・目標値の設定
活動計画の設定

安全対策の実施

事前予防的な安全対策の実現